

豊陵会中部支部報

第5号
2012年3月2日
編集発行
豊陵会中部支部報
編集部

第四回中部支部総会開催

11月19日

昨年11月19日、名古屋商工会議所名商グリルにて、ご来賓を含めて61名の方のご出席をいただき、第4回豊陵会中部支部総会・懇親会が開催されました。

総会開始

例年どおり、我らが誇れる豊高校歌が流れる中、出席者が次々と会場に到着。受付で名札、パンフレットを受け取り、期ごとに指定された席へ。ほぼ全員が出揃った定刻の11時、総会が始まった。松原中部支部長挨拶、北豊陵会長挨拶、刀禰東京支部長の挨拶に続き、来賓の紹介、決算報告、事業報告等が行われた。

豊高近況報告

その後、大阪から車を運転しパソコン持参で駆けつけてくださった高橋豊中高校長から10月29日に開催された豊高



松原支部長

90周年記念行事の内容について報告があった。



北会長

ヒマラヤ杉の移転、戦争で亡くなられた方々の「憶念の碑(モニュメント)」の設置、進学指導特色校となり初めての入試で豊高の入試倍率が高くなったこと、夏休みの勉強合宿の様子、来年度から海外語学研修を予定していることなどを豊高の近況報告がパワーポイントを使って行われた。

講演会

続いて会は、大阪大学名誉教授で日本原子力学会の権威である住田健二先生の『福島原発事故から学ぶこと』と題



高橋校長

いる日本の技術屋に全く出番を与えなかったことが事態を深刻化してしまったこと、23年前の東海村原発事故の時には電力会社は見事な対応ができたのに、その後の電力会社の技術力の低下が全発電という重大な事態を招いたことな

住田先生は豊中高校1期生の先輩で同窓会ということもあり率直な話をしてくださいました。事前に、事故発生時の手順、体制、指示系統などいろいろの備えをしてきたにもかかわらず、官邸が米国を信じ、原子力の現場を一番理解して

どをお話くださり、最後に、原子力利用を「原子力村」の人たちだけで進めてきたことの批判を甘受する一方で原子力の将来は評論家だけで決めるのではなく、しっかり技術



住田先生

の分かる人など異なる立場の人たちが協力して前進させることが重要と締めくくられた。

懇親会

その後、バザーの説明を経て会は懇親会へ。栗岡名誉顧問の乾杯で歓談。プッフェスタイルの食事を摂りながらの和やかな時間となる。

名商グリルは名古屋の老舗ホテル名古屋観光ホテル直営



会場風景

のレストランで味には定評がある。メニューは、種々の魚介類のマリネ、ローストポーク、チーズ、サンドイッチ、牛角切の照り焼き、タンドリーチキン、きのこのキッシュ、グラタン、スープ、カレー、鮎、蕎麦、各種デザート、フルーツなどと盛りだくさん。

今回は若い世代の出席者が多く、売れ行き(?)も好評だ。飲み物も、持ち込みの幻の焼酎「森伊蔵」に日本酒、ワインなど、酒好きの面々にも至福の時間。この間、テーブルごとの自己紹介、記念撮影、



バザー準備

バザーのショッピングなど宴もたけなわに。世代を超えた交流も盛んに行われ、あちこちで中部支部の輪が広がった。

福引

会も盛り上がったところで、いよいよオークションの発表。商品券などの福引の当選者が次々と決まり、最後に、高級万年筆、バカラグラスなどの

オークション商品が高値で競り落とされた。即売を含めたバザーの売り上げ十五万一千九百四十円は中部支部の活動資金として来年度の予算に計上された。



校歌斉唱

閉会

最後に、全員で豊中高校の校歌を高らかに唄い、中村副支部長の閉会・お礼の言葉で会はお開きとなり、各自、松原支部長提供のLED照明付きキーホルダーと栗岡名誉顧問提供の天津甘栗を土産に帰途についた。

今年は11月17日(土)15時開催

今年の支部総会は11月17日(土)15時から同じ名商グリルにて開催します。いつもは11時にスタートでしたが、医師の方など午後、夕刻からの開催の方が出席しやすいとの意見もあり、初めて午後3時からの開催としました。今年も多くの方の出席をいただき懐かしい豊高時代を思い出しながら会員相互の交流を深めていきたいと思っております。



①テーブルの皆さん



3~10、14期の皆さん



12~13期の皆さん



⑥テーブルの皆さん



⑤テーブルの皆さん



④テーブルの皆さん

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	328,253	2011年度総会費用	310,311
総会参加費	403,500	印刷費	69,300
協力費	76,000	会議費	47,010
寄付金	10,000	旅費交通費	31,840
本部補助	100,000	通信費、運搬費	78,820
オークション等売上	151,940	事務費(文房具、コピー)	4,823
名簿販売促進費	0	写真代	1,250
利息	69	手数料	12,105
写真販売費	2,100	ホームページ維持費	14,175
		次年度繰越金	502,228
合計	1,071,862	合計	1,071,862

豊陵会中部支部
2011年度会計報告
(2011年1月1日~12月31日)

2011年度の会計は、左記のとおりです。



⑦テーブルの皆さん

支部便り

1月1日付で以下の通り役員が交代しました。

退任	新任
武井 俊平(7期)	加納 邦郎(9期)
今枝 敬治(10期)	田島 洵(14期)
逸見 拓生(40期)	東川 武史(38期)

退任された役員の方々は中部支部発足時から役員を務めていただきました。この間のご支援に対して心から感謝申し上げます。
新任の方々はこれからよろしくをお願いします。

中部支部ホームページ

豊陵会中部支部ホームページは総会の様子や参加者の記念写真などを紹介しています。その他、過去の支部報、中部支部ニュース、会員の「会と催し」、会員のトピックスなど幅広く掲載しています。
まだご覧になっておられない方は是非一度アクセスしてください。また、皆様からの記事の投稿も歓迎いたしております。
投稿の方法はホームページをご覧ください。
<http://www.houryou-chuubu.org>



27期同窓会

「2015年には卒業40周年を迎えるので中部から発信して何か楽しいことをやりたいね」と話しています。
(27期 松本記)

会員の集い

27期の新年会を1月20日(金)に栄の居酒屋でおいしました。
今年は都合の悪い人が多かったけれども6名が参加しました。

中部の27期の特徴は、なんといってもみんな現役時代は全く知らなかった、ということなんです。ですから、新しくできた友達なのですが、なぜか、豊高生というだけで昔からの知り合いだったようになつてしましました。

支部役員紹介



コア常任委員
村田 直子

高校26期。旧姓住本。神戸女学院卒業後日本航空に9年間勤務。1987年から日進市在住。現在は日進市役所の臨時職員。愛犬との散歩が日課。モットーは「やるからには楽しく」子育て中のお母さん、息抜きしたくなったらぜひ豊陵会にご連絡ください。



会計監査
鈴木 雄三

高校10期。阪大(工)、トヨタ自動車、日本電産、フェローテックを経て2010年4月よりフリー。豊高、トヨタではテニス部に所属。テニス、ゴルフ、和太鼓、ウォーキング、ストレッチ体操、庭仕事、家事の手伝い、か日課。

編集後記

中部支部発足から4年半が経ちましたが、会員相互の結束はだんだん強まっているように思います。支部役員の交代もスムーズに進みほっと一息です。豊高というだけで先輩も後輩も快く協力していただけたことが何より有難い財産です。今年もよろしくお願います。
(中部支部書記 三浦 隆)